

図書館だより



平成25年 12月13日(金)
梶原学園図書室 片岡発行
NO.7

生徒の皆さんへ

12月、2学期もあと少しになりました。秋は、運動会、文化祭作品展、ウェルカムコンサート…いろいろな学校行事がめじろおでした。期末テストも終わって、ほっとしているではありませんか？日も短くなり、家で過ごす時間が増えると思います。ほっこりと読書も楽しいですよ。

海外の名作にふれよう

『クリスマス・キャロル』

チャールズ・ディケンズ



ケチで心の冷えきった老人スクルージ。クリスマスイヴの夜、死んだ友の霊があらわれ、3人の霊をよこすという。過去、現在、未来の霊が彼に見せたものとは…。

自らの辛い過去、クリスマスを祝う、貧しく心清らかな人々の姿、そして最後に自分の未来を知ること。

166年間も世界中で読み継がれている名作です。

『賢者の贈り物』

オー・ヘンリー



貧しい夫婦がクリスマス・イヴの日に、互いに相手を喜ばせようと贈り物を選びますが…。妻のデラは自分の髪を売り、夫のジムのために時計の鎖を買いました。一方ジムは、デラの美しい長い髪に似合う髪留めを買うために…。愛する人のためにお互いがしたことは…。この他に7編のショートストーリー掲載。

『ベートーヴェン』

石井清司



年末になると聞こえる「交響曲第九番」詩人シラーの詩を取り入れたこの交響曲が作られた時、ベートーヴェンの聴力はほとんどなかったといえます。

酒飲みの父に体の弱い母と幼い二人の弟。貧しい家庭を支えるため、13歳のベートーヴェンはピアノの家庭教師などをして働きます。難聴となり絶望するベートーヴェンですが…



『クリスマスキッス ふたりはまだまだ恋愛中』

M. E. ラブ

家出してNYから小さな田舎町に身をかくすサムとソフィー。彼氏も出来たのに、とうとう追っ手が姿をあらわした!? みんなとずっと一緒にいたい!と思うが…。姉妹探偵が大ピンチにおちいるガールズ・ミステリー第4弾!(全4巻)

“クリスマスの「うんちく」を少々!”



①クリスマスカラーの赤・緑・白の意味は？

赤はキリストの血で、愛と寛大さの象徴。緑は常緑で、永遠の命。白は雪と天使で純潔。



②サンタクロースってだれ？

サンタクロースについては色々な説がありますが、四世紀に小アジア(今のトルコ)のミウラの司祭であったセント・ニコラウスに由来するといわれています。セント・ニコラウスは、まずしい人や子どもを救ったので、ヨーロッパ中で慕われる聖人となりました。



③くつ下をつるすのはなぜ？

これもセント・ニコラウスの伝説によると言われています。とても貧しくてお嫁にいく持参金もない三人姉妹が、身売りをするようになってしまいました。その話を聞いたセント・ニコラウスは哀れに思い、その娘たちの家の窓から金貨を投げ入れました。金貨は暖炉のそばにつるしてあったくつ下に偶然はいりました。そのおかげで姉妹は無事に嫁ぐことができ、幸せに暮らせたのです。



冬休み中の貸出しについて

*冬休み中も図書室は開館しています。(12/26・27、1/6・7)

時間 8:30~16:30

*図書の片岡が不在の場合は、職員室の先生に声を掛けて下さい。
冬休み中もたくさん本を読んで下さいね!

merry christmas

